

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	スーパー（販売担当）	・大手自動車メーカー関連の仕事をしている人が周囲に多く、ボーナス支給額も増えているため、今後の売上は上向きになる。
		衣料品専門店（売場担当）	・客の購買意欲は芳しくないが、秋には店舗改装が予定されているため、来客数が増加し売上につながる。また、百貨店業界各社の提携効果も出てくる。
		乗用車販売店（従業員）	・今後商品強化される動きがあり、自動車販売は上向きになる。
		住関連専門店（営業担当）	・住宅建設、各企業の設備投資、商業施設等の新築に加えて、リニューアル関係の仕事も、今後勢いを増してくる。
		旅行代理店（経営者）	・正月商品が売れ始めている。また、来年度の動きも出てきている。
		テーマパーク（職員）	・来場者数は全客層で増加しており、今後もこの勢いを維持する。
		その他サービス〔語学学校〕（経営者）	・入校希望者からの問い合わせが増えており、今後は良くなる。
	変わらない	商店街（代表者）	・デジタルテレビの販売は好調であるが、単価は下落傾向にある。白物家電の売上も落ち込んでおり、今後も横ばいが続く。
		商店街（代表者）	・客の様子を見ると、相変わらず必要以外の物は買っておらず、これから良くなる気配はない。ただし、今が相当悪いいため、これから一層落ち込むこともない。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・客の表情も明るく、好調な状況を維持する。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・消費者は相変わらず慎重なお金の使い方をしており、飲食店への酒類の卸販売量も当面横ばいが続く。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・これまでやや良い方向にあったが、最近は財布のひもがやや固くなっており、現状が続く。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・今後に向けてプラスの材料とマイナスの材料が相半ばしており、今後も横ばいが続く。
		百貨店（企画担当）	・秋物の第1弾を店頭で展開し始めているが、ヒット商品が現れる兆候はない。ただし、名古屋駅地区では集客力の向上により、今後も来客数の増加を想定できるため、極端に売上が減少することも考えにくい。
		百貨店（企画担当）	・今年の秋は高い気温で推移すると予想されるため、秋物の動きは例年以上に期待できない。
		スーパー（経営者）	・消費者はますます慎重になっており、所得が増えても借入れの返済に回している。こうした現状から、消費の先行きは良くなりそうにない。
		スーパー（店長）	・現在の中元単価の動きから、今後も客単価の上昇は見込めない。そのため買上点数の増加をねらって適量商品を充実しても、買上点数は期待どおりには増えず、結局売上の増加にはつながらない。消費者は、ガソリン等の価格高騰のため、食品購入により一層慎重になる。
		スーパー（仕入担当）	・従来の100円均一の販促が、現在は98円、88円均一となっており、チラン競争による単価の下落は今後も続く。
		コンビニ（エリア担当）	・消費者に購買意欲はあるが、増税問題等があるため、なかなか良くならない。
コンビニ（エリア担当）	・主力の米飯、おにぎりの売上が増加しておらず、あまり良くないままの状態が続く。催事品など衝動買いの対象となる商材の売上も厳しくなっており、財布のひもは固くなる一方である。		
衣料品専門店（経営者）	・固定客が、先取りした買物をしなくなってきた。今後も厳しい状態が続く。		
家電量販店（店員）	・天候不順が続き、販売量が大きく変わる要素も見つからないため、現状が続く。		
乗用車販売店（従業員）	・秋には各社から新型車が投入される。客の目は厳しさを増すが、市場全体では活気が生まれる。		
乗用車販売店（従業員）	・大幅な増販は見込めないが、新型車効果もあり、前年並みの販売台数なら見込める。ただし、競争は今以上に厳しくなる。		
乗用車販売店（総務担当）	・ガソリン価格の高騰により、自動車関係全般に対する家計支出も縮小傾向となる。		

		一般レストラン（経営者）	・最近は地元客の来店回数が増加傾向にある。安定した売上につなげるため、客離れが起きないように、しっかりしたサービスに努める。
		都市型ホテル（従業員）	・数か月後の予約件数は、やや良くなっている。
		通信会社（企画担当）	・地上デジタル放送の普及は追い風であるが、競争環境が更に厳しくなってくる。
		通信会社（営業担当）	・他社との競争によりコスト削減等が続き、今後も厳しい。
		ゴルフ場（経営者）	・来場者数は前年に比べて若干増加傾向にあるが、料金を引き下げないと予約が増えない状況は変わっていない。今後も値下げ競争が激しい。
		ゴルフ場（企画担当）	・9月、10月の予約件数は、例年と比べてかなり増えている。ただし、天候に大きく左右される状況にあり、良くなるまでは言えない。
		住宅販売会社（企画担当）	・客からの問い合わせ件数は前月並みであり、今後も変わらない。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・年金の諸問題や株価の下落は尾を引き、今後は若干悪くなる。
		百貨店（売場主任）	・他店に客が流れているため、これからは少し厳しくなる。
		百貨店（企画担当）	・単価の高い商品を中心に売行きが伸び悩む状況がここ数か月継続しており、すぐに改善する兆しは見られない。
		スーパー（経営者）	・超大型店の出店により、中小小売店では大打撃を受けている。これからは、生き残るのも難しい。
		スーパー（店長）	・中国産品に対する不信感があり、販売量は減少する。また、ガソリン価格も再高騰しており、先行きが非常に不安である。
		コンビニ（経営者）	・主要顧客である零細企業からの中元注文を総括すると、昨年並みが2割、件数や1件当たりの単価を下げた企業が7割で、残り1割からは注文が途絶えている。この結果を見ると、今後も厳しいことが分かる。
		コンビニ（店長）	・中元商品の単価が下げられたり、購入数量が減らされたりしており、売上は減少している。今後も厳しい状況となる。
		コンビニ（商品開発担当）	・原油価格の高騰、人民元高に伴う中国産品の値上がり、飼料用とうもろこしの価格上昇に伴う食材価格の高騰が、仕入れの現場では目に見えて現れてきている。諸物価の上昇は避けられず、今後はやや悪くなる。
		家電量販店（店員）	・暑い日が少ないためエアコンが売れず、AV機器やパソコンも単価が大きく下落している。そのため、見通しも良くない。
		その他専門店〔貴金属〕（店長）	・セールでも来客数がなかなか増加せず、客単価も上昇していない。今後も前年の実績をクリアできる見込みがない。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・原油価格の高騰の影響が、今後材料費等に現れ、収益を圧迫する。
		観光型ホテル（経営者）	・予約件数の前年比は、8月は90%、9月は75%、10、11月は90%を割っている。宿泊件数は伸び悩んでいる。
		通信会社（開発担当）	・顧客企業が業務委託量を縮小してきているため、今後の売上は減少する。
		パチンコ店（経営者）	・監督官庁による規制強化により、来年の春先までは業界の淘汰が加速する。
		住宅販売会社（経営者）	・広告を出してもほとんど反応がなく、今後の販売は厳しくなる。
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	・見積などの引き合いが減少しており、今後は停滞する。
	悪くなる	コンビニ（企画担当）	・ガソリンを始め諸物価が上昇傾向にある中、税金や医療費の公的負担が増えており、家計を圧迫する。そのため、今後は一段と厳しくなる。
		家電量販店（店員）	・可処分所得が増えていない中、ガソリン価格の値上がりが続く。買い控えは今後も続く。
		高級レストラン（スタッフ）	・来客数の減少、客単価の低下は、従来は曜日、店舗が限定され部分的であった。しかしこの数か月間は、全曜日に拡大し、該当店舗も増え始めている。今後は、一段と厳しくなる。
企業動向関連	良くなる	企業広告制作業（経営者）	・様々な格差が確かに拡大しているが、今後も好調な企業が全体を押し上げる。
	やや良くなる	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・受注量、販売量共に、現状より約5%ほど良くなる。

	一般機械器具製造業（経理担当）	・当面の受注量は、現状維持で推移する。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・機械の修理と検査の仕事が入り、今後は少し良くなる。	
	輸送用機械器具製造業（統括）	・主力取引先の業績が、今後も順調に回復する。	
	広告代理店・新聞販売店〔広告〕	・駅内広告量は、中小企業からの出稿は少し厳しいが、大手企業からの出稿は堅調に伸びる。大手が引っ張る限り、全体ではやや上向く。	
変わらない	食料品製造業（企画担当）	・原油価格の上昇に伴う副資材の値上がりにより、商品原価は上がっているが、販売価格は据え置きである。販売数量が伸びていないなか、副資材の値上げは今後も続くため、今後も厳しい。	
	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・出版関連では売上がやや低迷しており、この状態は今後も続く。	
	印刷業（営業担当）	・現在の受注量や販売量の動きを見ると、景気が上向く兆候はない。今後もあまり変わらないか、やや悪くなる可能性もある。	
	窯業・土石製品製造業（社員）	・磁気テープ関係の販売が厳しいが、蓄電池関係と磁石材料関係の販売増でカバーしている。しばらくは、この傾向が続く。	
	金属製品製造業（経営者）	・企業間の競争は、今後も激しい。	
	一般機械器具製造業（販売担当）	・主力取引先である米国自動車産業に明るい材料がないため、今後も現状維持が続く。	
	輸送用機械器具製造業（経理担当）	・原材料価格の高騰分を、今後製品価格に転嫁できるかどうか、まだ不透明である。	
	建設業（総務担当）	・現状ではやや良くなっているが、今後は燃料の値上がりがか響いてくるため、先行きも良いとは限らない。	
	輸送業（経営者）	・軽油価格の高止まりと人手不足は今後も続く。	
	輸送業（エリア担当）	・荷物量は多く引き合いもあるが、運賃は値上がりしていない。今後もこの状態は続く。	
	輸送業（エリア担当）	・営業からの情報では、今後良くなることはない。	
	金融業（企画担当）	・企業の設備投資は依然として自己資金の範囲内であり、借入れを伴う積極的な投資態度ではない。こうした状態では、今後良くなるまではいかない。	
	やや悪くなる	広告代理店（制作担当）	・紙価が上昇してきているため、印刷物の発注を見合わせている企業が少なく、今後の景気は停滞する。
新聞販売店〔広告〕（店主）		・折込広告が減少しているが、回復する要素は見当たらない。	
紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）		・数か月後に、原材料の仕入価格が数%上昇する可能性がある。仕入価格の上昇を販売価格に転嫁できればよいが、その時期がずれ込むなど、スムーズにいかない可能性もある。	
化学工業（企画担当）		・原材料価格の高騰に伴い原価が上がる一方で、製品価格に対しては値引き要請があるため、収益に影響が出てくる。	
窯業・土石製品製造業（経営者）		・秋口以降に住宅着工件数がやや落ち込む見通しのため、窯業界も影響を受けて、やや低迷する。	
輸送用機械器具製造業（総務経理担当）		・国内の新車販売が落ち込んでいる上に、原油価格の高騰によりガソリン代が高くなれば、車は一層売れなくなる可能性がある。また円高傾向にあるため、今後は輸出も厳しくなる。	
輸送業（従業員）		・原油価格の高騰により、トラックの燃料費やフェリー料金が上昇することは確実であり、経営環境は大変厳しい。ガソリンや軽油の値上がりに伴い、消費も落ち込む傾向にあり、一般雑貨の荷動きも低調になる。	
悪くなる	輸送業（エリア担当）	・貨物量の動きは変わらないが、軽油等の燃料費やタイヤ価格の値上がりが続くため、今後も厳しい。	
	不動産業（経営者）	・住宅供給は過剰になりつつあり、今後賃貸料の引き下げ競争になる。	
悪くなる	鉄鋼業（経営者）	・製鋼メーカーによる大手企業向けの販売価格と中堅向けの販売価格との価格差は、今後も一層大きくなる。	
雇用関連	良くなる	-	
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・企業決算に合わせて、9月以降は採用活動が活発になる可能性が高い。
		人材派遣会社（社員）	・企業の直接採用の募集は、今後も増える。人材派遣会社としては、募集しても人の集まりが悪いため、人手不足の解消が大きな課題である。
		職業安定所（職員）	・自動車関連の新工場建設により、雇用状況が改善する。

変わらない	職業安定所（所長）	・当分の間、求人数は大きく減少することはない、新規求職者は減少するため、人手不足は今後も続く。
やや悪くなる	アウトソーシング企業（エリア担当）	・自動車関連は、中越沖地震の影響はほとんどないが、国内販売の低調により今後の生産は縮小する。雇用に関しては、自動車以外の産業は好調であるため、不安定になるまでには至らない。しかし、徐々に影響は出てくる。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・輸出関連製造業を除いて、求人は大きく減速している。ただし、パート、アルバイトの求人は相変わらず活発であるため、全体的には若干悪くなる程度である。
	職業安定所（職員）	・原油価格の高騰に伴い、企業の業況見通しが不透明になっているため、採用者数は横ばいから減少に転じる。
	学校〔専門学校〕（就職担当）	・ハローワークで募集しているパート求人への応募が、昨年に比べて増加している。また、一時消えていた第2新卒者も、最近ではその求人者に混ざってきている。雇用環境は少し厳しくなりつつある。
悪くなる		